

記入例

届出に必要な書類（二部必要）

- ①指定作業場（設置・変更）届出書及び別紙
- ②その他添付書類（事業者で用意するもの）

100メートル付近図

求積図

配置図（指定作業場の土地・建物・道路の状況が分かるもの）

平面図（施設の各階分、機械の配置がわかるもの）

立体図（窓等の開口部の位置がわかるもの）

第16号様式（第41条関係）その1

設 置  
指定作業場 届出書  
変 更

〇〇年 〇〇月 〇〇日

（宛先） 大田区長

郵便番号（〇〇〇-〇〇〇）

住 所 **大田区蒲田5-13-14**

氏 名 **株式会社 大田商事**

**代表取締役 大田 一郎**

（法人にあっては名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）

電話番号（〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇）

第89条

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例の規定により、関係書類を添えて、

第90条

次のとおり届け出ます。

既設置番号等 (変更届の場合)	設置番号・年月日	第 号	年	月	日
変更事由	1	指定作業場 の 種類	2	作業の 方法	3
指定作業場の名称	<b>蒲田ペット斎場</b>				
指定作業場の所在地	<b>大田区蒲田6丁目13番14号</b>				
指定作業場の種類	<b>焼却炉</b>	病院にあって は病床数	床		
地域等	用途地域 <b>商業地域</b>		水域 <b>下水道（合流）</b>		
自動車の出入口が 接する道路の幅員	<b>6</b> m	50メートル以内の学校・ 病院等の所在位置		△別紙（ ）のとおりに	
作業時間	<b>0</b> 時から <b>24</b> 時まで（ <b>24</b> 時間）				
工事着工予定	〇〇年〇〇月〇〇日		工事完成予定		〇〇年〇〇月〇〇日
従業員数 (常用雇用者数)	( <b>〇</b> 人 )		廃止予定		年 月 日
連絡先	所 属 <b>総務課</b> 氏 名 <b>大田 二郎</b> 電話番号 <b>〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇</b> ファクシミリ番号 <b>〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇</b>				
※受付欄					

- 備考
- 1 ※の欄には、記入しないこと。
  - 2 △印の欄には、届出書に添付する各別紙に連番を付けた上、該当する別紙の番号を記入すること。
  - 3 変更届として使用するときは、「指定作業場の名称」及び「指定作業場の所在地」以外の欄には、変更のある欄のみ記入すること（添付する別紙についても同じ。）。
  - 4 「指定作業場の種類」の欄には、条例別表第2に掲げる指定作業場のうち該当するものを記入すること。
  - 5 「用途地域」の欄には都市計画法第8条第1項第1号に規定する用途地域を、「水域」の欄には条例別表第7-4の部の付表の水域細区分の欄に掲げる水域を記入すること。
  - 6 「診療所」は、患者を入院させるための施設を有するものに限る。

敷地・建物の状況	建物・施設の配置	△別紙（ ）のとおりに			
	敷地面積 (㎡)	446.21			
	作業場の棟別構造・面積	棟の名称			
		用途	ペット斎場		
		階数	1階		
		構造	鉄骨造		
		建築面積 (㎡)	280平方メートル		
作業場面積 (㎡)	72.0				
主たる施設の能力等	種類	焼却炉			
	公称能力	火傷面積 1.2㎡ 焼却能力 60Kg			
	動力 (kW)	3.35Kw			
	台数	1台			
	別紙番号				
	構造・使用の方法	△別紙（ 9 ）のとおりに			
事業場で取り扱う有害ガス又は有害物質	取扱いなし				
作業の方法	ペット（犬、猫等）の死体を、焼却炉を用いて火葬する。				
公害防止の方法	①焼却炉は、二次燃焼室で未燃焼ガスを燃焼させ、煙、臭い、有害物質の排出を低減する。				

備考 1 「建物・施設の配置」の欄及び「構造・使用の方法」の欄の別紙は、施行規則別記第16号様式の別紙のうち、該当する様式を使用すること。

2 「事業場で取り扱う有害ガス又は有害物質」の欄には、条例別表第3の各号に掲げる物質又は別表第4の各号に掲げる物質のうち事業場で取り扱っているものを記入すること。

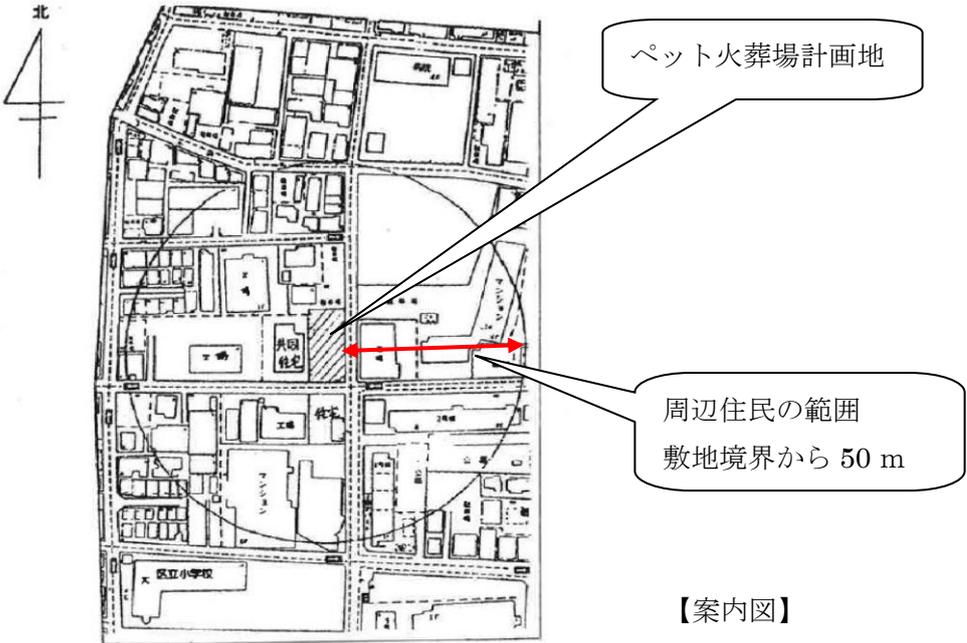
### 特定有害物質を取扱う事業者の方へ

指定作業場等の廃止又は主要設備の除却時には、操業中の特定有害物質の取扱状況について報告が必要になります。そのため、特定有害物質を含む製品を製造、使用、廃棄する場合は、環境確保条例第118条第1項に基づき、その記録を保管してください。取扱いがあった場合、環境確保条例第116条第1項に基づき、土壌調査が必要になります。

暖房用熱風炉、ボイラー、ガスタービン、ディーゼル機関、  
ガス機関、ガソリン機関又は焼却炉を有する事業場

施設番号					
種類・名称・型式					
設置年月日					
着手予定年月日					
使用開始(予定)年月日					
構造					
規模	伝熱面積又は火床面積(m <sup>2</sup> )	12			
	燃料の燃焼能力(□/h、mN/h)				
模	焼却能力(kg/h)	60			
使用状況	1日の使用時間・ 1月の使用日数	9時～22時 20日/月	時～時 日/月	時～時 日/月	時～時 日/月
	季節変動				
	燃料種類	都市ガス			
灰分・いおう分(%)					
	1日の使用量				
廃棄物の種類・量(t/日)		動物の死体			
ばい煙の処理の方法					
総排出物の量(mN/h) ・温度(℃)					
総排出物中の酸素濃度(%)		12			
ばい煙の濃度	ばいじんの濃度(g/m <sup>3</sup> )	処理前			
		処理後(効率:%)	1.5以下		
	いおう酸化物の濃度(容量比ppm)	処理前			
		処理後(効率:%)			
	窒素酸化物の濃度(容量比ppm)	最大	処理前		
			処理後(効率%)		
		通常	処理前		
			処理後(効率%)		
ダイオキシン類の排出量(ng)		0.5以下			
煙突・排気塔	高さ(m)	H=10.0			
	頂口径(m)	Φ100			
	排出速度(m/s)				
参考事項					
敷地内建物又は室内施設の配置図					

- 備考 1 指定作業場の種類ごとに、該当する欄のみ記入すること。  
 2 「灰分・いおう分(%)」の欄の記入に当たっては、重量比又は容量比の別を明らかにすること。  
 3 「ばい煙濃度」は、乾きガス中の濃度とする。  
 4 使用機器の仕様が確認できるカタログ等を添付すること。



求積表

	底辺	高さ	個面積
①	37.34	12.2	455.548
②	37.34	11.7	436.878
		倍面積	892.426
		面積	446.213
		地積	446.21

敷地面積 446.21 m<sup>2</sup>

